

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		15 04 03	中期総合計画主要施策番号		4-01	担当課	部・課	教育委員会事務局特別支援教育課	
事業名		特別支援学校施設整備事業					内線	4377	
							E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	老朽化している特別支援学校施設等に対し、安全性や機能性に配慮した整備を計画的に実施し、児童・生徒にとって安全・安心な教育環境の整備を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・特別支援学校へ入学する児童・生徒の増加により教室数が不足する場合がある。 ・児童・生徒の障害の重度化、重複化に施設の機能が十分対応できていない。 ・施設の老朽化が進行し、改築等が必要な施設が存在する。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 施設の整備には多額の費用を要することから、優先順位を設定して計画的に実施することが求められている。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 児童・生徒数の推移や障害の状況等に応じた施設整備を計画的に実施する必要がある。							
		事業内容							
		・児童・生徒の増加により教室数が不足する特別支援学校の教室の増設 ・老朽施設の計画的な施設整備の実施 ・緊急的な破損等に対する修繕の実施 ・児童・生徒の障害の重度化、重複化に対応した施設整備							
	実施期間	S53 ~		根拠法令等	学校教育法第74条 他				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	児童・生徒の増加により教室数が不足する特別支援学校の教室を増設するとともに、老朽化している施設等に対し、安全性や機能性に配慮した整備を計画的に実施し、児童・生徒にとって安全・安心な教育環境の整備を図る。		・老朽校舎改築のための地質調査 1校 ・教室の増設 2校 ・維持修繕・老朽設備の更新 2校 ・緊急修繕 3校 ・障害児にやさしい施設整備 3校 ・学校生活向上 1校 ・耐震補強 2校(補正事業) ・施設環境改善事業 13校(補正事業)			・老朽校舎改築のための地質調査 0校 ・教室の増設 2校 ・維持修繕・老朽設備の更新 2校 ・緊急修繕 3校 ・障害児にやさしい施設整備 3校 ・学校生活向上 1校 ・耐震補強 2校(H21へ繰越) ・施設環境改善事業 13校(4校はH21へ繰越)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	158,372	180,646	123,445	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	146,447	169,851		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	133,706	65,222	63,947	歳出節別内訳等	需用費 1,500 役務費 82 委託料 7,424 工事請負費 151,919 負担金 8,926	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00	(単位: 千円)	(H21への繰越額: 74,291)	
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	施設整備事業件数		箇所	17	11	13			
	(補正事業)		(箇所)		(12)	(8)			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	児童生徒数の増加や施設の経年劣化が進んでおり、施設整備のニーズは高まっている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		高まる事業ニーズに対応していくため、安全性や機能性に配慮した施設整備を計画的に実施し、児童・生徒にとって安全・安心な教育環境づくりを進める。							